町民参加コーナー

まちの声



今回の「まちの声」は、新谷行弘さんからお話をお聞きしました。



Q 議会だよりは読んでますか？

A いつも議会だよりを拝読させてもらっています。商工業関係もそうですが、農業、行政のほうも勉強させてもらっています。

Q 今の妹背牛町は住みやすいですか？

A とても住みやすいです。数年間、札幌や東京で暮らしていた時期もありますが、妹背牛町は自然豊かで人も優しい。この町で好きな人と友人や仲間と元気に一緒に年を取っていきたいです。それと、場所も旭川や札幌に近く、車や交通機関を使っていけるのも魅力だと思います。

Q これからの妹背牛町についてどう思いますか？

A 妹背牛町だけでなく、どの町も人口減少が大きな問題だと思っています。政策で人口を増やすのは簡単ではないので、どう減少を食い止めるか、減少のスピードを緩やかにできるのかを考えながら、小さな町になっても町民が暮らしやすい町になってほしいと思っています。

Q 自由な一言をどうぞ

A 妹背牛町で商売を始めて、106年になります。その時代、時代の町やお客様に支えられて今があります。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

編集後記

今年は夏日、真夏日が少なく、昔の北海道の様な天候だった気がします。一方、7月には昨年に次いで線状降水帯が発生し、本町では初めて警戒レベル3となりました。大きな被害は無かったものの、今後も十分注意が必要です。

さて、今年は2月に続き8月に議員カフェを開催しました。また、農民協、JA理事、移住者との懇談会や、深川市での地域農業の未来を考える会にも参加しました。貴重なご意見をいただいた皆様に感謝申し上げ、今後の活動に活かしていきたいと思います。また、庁舎改修で議事堂が防災機能を備えた構造となりました。ぜひ見学を兼ねて傍聴にいらして下さい。

議員の任期も残り1年、議会だよりの発行もあと3回となりました。ご協力いただいた町民の皆様に感謝し、これからもわかりやすいお便りをお届けできるよう努めます。秋も足早に過ぎていきます。どうぞ体調を崩さぬようお過ごしください。

広報特別委員会

委員長　中山　義博
副委員長　佐々木和夫
委　員　鈴木　正彦

発行～妹背牛町議会
編集～広報特別委員会
〒079-0592　北海道雨竜郡妹背牛町字妹背牛5200番地
☎（0164）34-8586